

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年8月1日

71号

## レダ開発10周年記念 現地訪問ツアーに参加しましょう！



パンタナールの月ハは冬の季節。気温は日の出前頃、十以下になることもしばしばあります。日中は二十前後、乾期の真っ只中で乾燥した日々の為、蚊も少なく、日本から訪ねると避暑に訪れたような快適な気分となるでしょう。また、大自然は新しい生命を誕生させる準備に忙しい時です。

鳥も獣も、それぞれがよき伴侶を求め、恋の季節が訪れ、晴れて夫婦となつた者たちが、9月になればあちこちで子供を抱く様が見られるようになります。そして雨期に入り、待つていたように枯葉枯れ芝が、一斉に美しい緑に生まれ変わります。様々な花が咲き、支流には小魚が溢れ、それを求めて鳥の親子が群がる。それは天地が躍動する壯観なパノラマです。

レダ開拓も今年の十月一日で十周年を迎えます。多くの方々の真心に支えられて新しい段階に発展している様を、少しでも多くの方々に体験して頂こうと十周年記念現地訪問ツアーが企画されています。今まで地球環境問題対策の一環として植樹をして頂いた方々、建設や機材購入に貢献して下さった方々、地域学校建設や教育支援活動に尽力して下さった方々、農業や牧畜に関心を持つてご協力賜わった方々など、縁ある方々が共に参加して現地の人々と共に喜びを分かち合い、大自然を堪能し、新たな10年の出発をしたいのです。（飯野記）

パンタナール南米ツアーコーナー・プラン

期日\* 九月十四日（一十二日）

費用\* 約三十五（四十万円予定）

（オプションツアーフレッジは別）

詳しくは近々事務局から発表されますのでお待ちください。

# 10周年記念ツアーに参加し、 自然を満喫しましょう！！



## 大統領補佐官一行、レダ訪問



大統領補佐官一行四名が、カサドを視察した後、レダにやつて来られ、中田所長、佐野先生をはじめわざかなメンバーでした。が心を込めてお迎えしました。プールの水も透き通つて輝いています。たし、夕方到着後すぐレダの歩みのビデオも修練所応接間で見られ、日本人年間こボランティアがレダの地と近隣のインディヒナの村にに近くしてきた苦労の歩みに感動されました。

第一ゲストハウスに宿泊され、六月二十八日朝レダを視察、第一農場から第五植樹園まで二一ムやモリンガの植樹の様子とその目的と説明に大いに心を動かされました。

極めつけは、支流奥地を車で案内、第三、第四の橋の近くで、ワニやトウユウの群れをご覧になり、「知らなかつた。こんなところがあるとは初めてだ！」と叫ばれ、次回は是非とも大統領を連れて来たい！とメインの一人の方が力強く語つていました。

補佐官はカソリックで学生時代からルゴ大統領と親友であり、卒業後ルゴ大統領は神父の道を、自分は建築家の道を歩みながら信者としてルゴをサポートしてきました。仲だそうです。レダ訪問記念に二一ムの樹の植樹をしていかれました。



今回、私がこの活動に応募したのは、このお話を聞いた時から本当にほんとうに、率直に神様が絶対待ついらっしゃる！そして、神様に親孝行がしたい！と思つたからです。

自分自身、神の下の一つの家族を成していくために、海外で（特に発展途上国で）教育環境が難しい地域にいる人たちに、民族を超えて、文化が触れるきっかけをつくついていきたいと思つています。それが、神様の夢を成していくために、私が貢献していきたい分野であるし、私の夢もあります。

今回の活動に参加させていただくことが、自分にとても大きな挑戦になると思いました。

多くの先輩が精誠を尽くされたその地で、自分自身がしっかりと自分の目で見つめ、感じ、体験して、何かひとつの確信を得て、その場だけの活動で終わらせるのではなく、また帰ってきてからより一層夢に向かって歩んでいきたいと思っています。

（女性隊員、名古屋より）

今日、青年組織の責任者をしているロケ氏と話しました。それは、シウダ・デル・エステでの植樹の件です。彼らは最近シウダ・デル・エステのある学校に百本の植樹をしました。

運動の一環として環境問題を扱つてているようで、シウダ・デル・エステの市役所の後援を取り付け、キャンペーンをし、学校と関係を持ち、純潔運動や人格教育などのモラルの講義をしていこうといつ計画のようです。彼らとタイアップして、九月五日（土）を植樹の日として定め、五十校を選んで、百本ずつ植えるキャンペーンをする事を計画しています。

ロケ氏も非常に乗り気で、もちろん各学校の生徒たちが百本の植樹の面倒は見てくれます。

九月五日温暖化防止の日として市の関係者と教育の場を設け、市全体が植林の重要性を啓もうする日として集会を行う計画です。

日本から来る青年奉仕隊が効果的な活動が出来るよう万全の準備をしています。

（現地担当 佐野）

## ベニータさんへインタビュー

レダで働き始め  
て四年ほどになり  
ます。  
「私は労働者達の  
お母さん・・・」  
と語り、何時も彼  
らに気を配りながら  
食事を作つてお  
ります。

現在ベニータさ  
んのご主人、お子  
さん三人、姉妹二  
人が交互にレダで  
働いております。



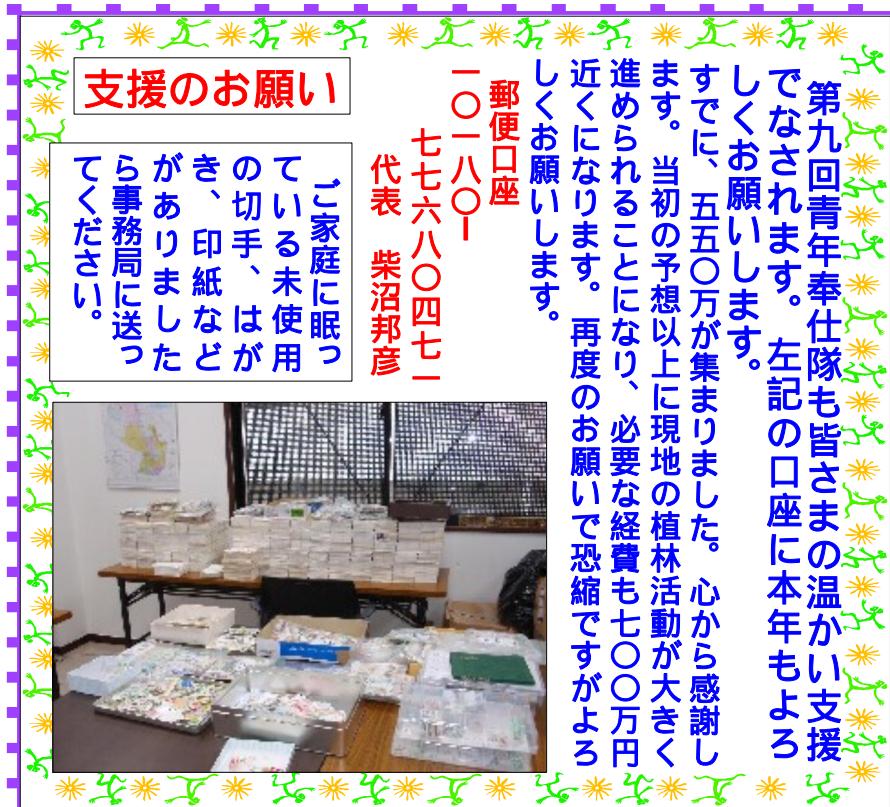
レダのどの辺りで生れましたか?  
第  
ゲストハウスの辺りで生れました。

当時のご家族は?

父母と私と妹一人の五人家族、父は牧  
童頭をしていました。大変大きな牧場で  
メス牛、子牛、去勢した牛などに分けて  
よく管理されてある牧場でした。船四隻  
で出荷してました。

現在毎日どのような気持ちで働いてお  
りますか?

母親として子供たちを学校に行かせ勉  
強させ、独り立ち出来る様にしてあげた  
ことと考えており、その為今ここで働ける  
ことはとても感謝です。



## 支援のお願い

この家庭に眠つ  
ている未使用  
の切手、はが  
き、印紙など  
がありました  
事務局に送つ  
てください。

郵便口座  
一〇一八〇  
七七六八〇四七一  
代表 柴沼邦彦



子供の頃勉強する機会はありましたか?

私は長女なので殆どありませんでした。母  
親から自分の名前の読み書き程度は教えて  
もらいました。妹達は勉強をする機会が持てる  
様になりました。

二十五年前の大洪水の時の様子は?

高台を選び何とか生き延びました。豚がヤ  
シの木を食べるなど通常は考えられない状況  
でした。四月から洪水が始まり、七月に入つ  
て少しずつ水が引き始めました。

## 南北米福地開発協会会員の募集

南北米パラグアイ・バントナール地域への植  
林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、  
その地域をモデルとし、世界に環境保護の大  
切さを訴えています。

会員は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信  
を送ります。  
また、各種のセミナー、エコツアー等の案  
内をいたします。

## 南北米福地開発協会 事務局

〒二二三一〇〇〇一  
神奈川県川崎市高津区  
溝口二二十一十五

岩崎ビル四F

電話 ○四四一八一九一一八二一

Fax ○八一九一二八一〇

会費納入 郵便口座  
一〇一八 ○一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp  
ホームページ <http://www.asd-nsa.jp>